

2021年11月22日

## 長谷エグループのCSR活動 東京都主催「東京グリーンシップ・アクション」に参加 清瀬松山緑地の保全活動を実施

長谷エグループ（代表企業：長谷エコーポレーション、本社：東京都港区、社長：池上 一夫）は、11月20日、東京都環境局主催の「東京グリーンシップ・アクション」<sup>(※1)</sup> 清瀬松山緑地保全活動に参加しました。

新型コロナウイルス感染症予防の観点から、受付時の検温や消毒液の設置を行い、参加人数も絞っての実施となりました。当日は、グループ社員28名が参加し、東京都環境局とNPO法人環境学習研究会、清瀬の自然を守る会の協力のもと、清瀬松山緑地保全地域<sup>(※2)</sup>において、草刈り・除伐・落枝整理、木柵・ロープ交換などを行いました。

長谷エグループでは、2012年3月に策定した「長谷エグループ生物多様性行動指針」に従い、環境を守る社会貢献活動の一環として、2012年より東京都主催の「東京グリーンシップ・アクション」に参加しています。今後もこうした活動に継続的に取り組み、自然環境の保全に貢献するとともに社員の環境意識の向上を図り、“大切にしたい風景”<sup>(※3)</sup>の実現に努めてまいります。

- (※1) 「東京グリーンシップ・アクション」は、東京都に残された山地の森林や丘陵部の里山、市街地近郊の雑木林など、貴重な自然環境の保全を目的として2003年にスタート。東京都が中心となり、都内各地域で活動しているNPO法人、環境保全団体、企業や都民が連携して取り組んでいます。
- (※2) 清瀬松山保全地域は、東京都清瀬市南西部に位置する平地林で、市街地の中では稀少となったアカマツをはじめ、多種多様な野草・昆虫・野鳥が生息している「自然の宝庫」です。
- (※3) 2018年3月に制定した「CSRビジョン」及び「CSR方針」の元、長谷エグループのCSRが目指す姿として明文化した4つの取り組みテーマ（住んでいたい空間・働いていたい場所・大切にしたい風景・信頼される組織風土）の一つ。住まいづくりにおけるプロセスでの環境配慮を推進するとともに、生物多様性に配慮した活動を行うことにより、より快適で持続可能な地球環境を目指します。

### 【実施概要】

日時：2021年11月20日（土）9：30～14：10

場所：清瀬松山緑地保全地域（東京都清瀬市、保全指定面積43,356㎡）

内容：・開会式（開会式挨拶、スケジュール説明、集合写真撮影）  
・清瀬松山緑地保全地域の解説、自然観察  
・保全活動（草刈り・除伐・落枝整理、木柵・ロープ交換）

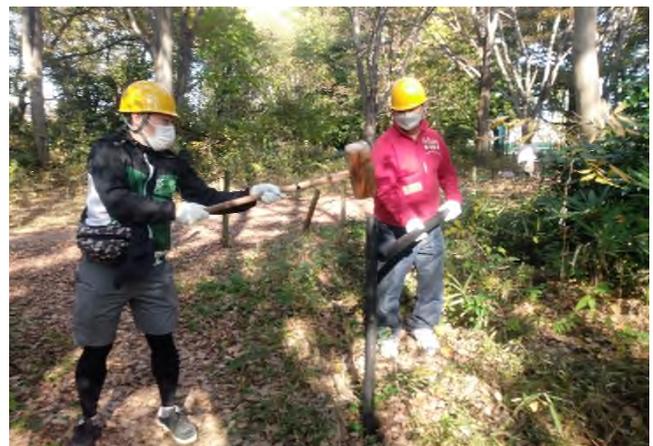
参加者：グループ社員 28名 ※例年は社員の家族も対象。今回は社員のみ

### ◆参加者コメント◆

- ・企業のSDGsの取り組みについて考える良い機会になった。
- ・コロナ禍で外出の機会が減っていたので、良いリフレッシュになった。
- ・次は家族で参加したいと思った。



[落枝・落木整理]



[木柵交換]



[樹木除伐]



[草刈り]



[集合写真]